

健康増進編

1 健康手帳の交付（健康増進法第17条第1項関係）

平成20年度の市区町村における「健康手帳交付数」は約143万6千人となっている（表1）。

表1 健康手帳の交付状況

平成20(2008)年度

	総数	40～74歳	75歳以上
交付数(人)	1 436 188	1 256 104	178 275

注:年齢階級別の計上のない市区町村があるため、総数と年齢階級の計が一致しない。

2 健康診査（健康増進法第19条の2関係）

平成20年度に市区町村が実施した健康診査の受診者数は約8万3千人で、「男」約3万6千人、「女」約4万7千人となっている（表2）。

検査結果の状況を見ると、「脂質異常有病者」約3万5千人、「高血圧症有病者」約3万2千人となっている（表3）。

表2 性・年齢階級別にみた健康診査における受診者の状況

平成20(2008)年度

(単位:人)

	総数	40～49歳	50～59	60～64	65～69	70～74	75歳以上
総数	82 987	7 650	11 497	9 380	11 956	13 454	29 050
男	35 544	3 045	5 929	4 903	5 465	5 699	10 503
女	47 443	4 605	5 568	4 477	6 491	7 755	18 547

注:1)老人保健法に基づき市区町村が実施していた基本健康診査は、平成20年度より高齢者の医療の確保に関する法律に基づき保険者が実施する特定健康診査と、健康増進法に基づき市区町村が実施する健康診査に分かれた。本報告では市区町村が実施した健康診査について計上している。

2)健康診査の受診者数は、「健康診査」、「訪問健康診査」、「介護家族訪問健康診査」の受診者数の合計である。

表3 性別にみた健康診査における検査結果の状況

平成20(2008)年度

	受診者数	検査結果							
		血圧		脂質異常 有病者	糖尿病		貧血 (疑いを含む。)	肝疾患 (疑いを含む。)	腎機能障害 (疑いを含む。)
		高血圧症 予備群	高血圧症 有病者		糖尿病 予備群	糖尿病 有病者			
総数(人)	82 987	13 544	32 221	35 113	13 188	11 308	10 471	12 591	6 887
構成割合(%)	100.0	16.3	38.8	42.3	15.9	13.6	12.6	15.2	8.3
男(人)	35 544	5 903	14 689	15 231	5 709	5 870	4 546	7 212	3 246
構成割合(%)	100.0	16.6	41.3	42.9	16.1	16.5	12.8	20.3	9.1
女(人)	47 443	7 641	17 532	19 882	7 479	5 438	5 925	5 379	3 641
構成割合(%)	100.0	16.1	37.0	41.9	15.8	11.5	12.5	11.3	7.7

3 歯周疾患検診・骨粗鬆症検診（健康増進法第19条の2関係）

平成20年度に市区町村が実施した歯周疾患検診の受診者数は約22万4千人、骨粗鬆症検診の受診者数は約28万8千人となっている。

指導区分の割合をみると、「要精検者」は「歯周疾患検診」では79.9%となっており、いずれの年齢でも7割を超え、「骨粗鬆症検診」では14.8%で年齢とともに上昇している。（表4）

市区町村における平成20年度の検診実施率は、「歯周疾患検診」53.0%、「骨粗鬆症検診」61.4%となっている（表5）。

表4 歯周疾患検診・骨粗鬆症検診の実施状況

(単位:人) 平成20(2008)年度

	受診者数	指導区分						
		要精検者		要指導者		異常認めず		
		受診者数に占める割合(%)	受診者数に占める割合(%)	受診者数に占める割合(%)	受診者数に占める割合(%)			
歯周疾患検診	総数	224 076	179 023	79.9	20 707	9.2	23 219	10.4
	40歳	59 014	46 039	78.0	5 807	9.8	6 839	11.6
	50歳	42 243	33 919	80.3	3 889	9.2	4 217	10.0
	60歳	67 426	54 395	80.7	6 144	9.1	6 585	9.8
	70歳	55 393	44 670	80.6	4 867	8.8	5 578	10.1
骨粗鬆症検診	総数	287 782	42 725	14.8	81 075	28.2	163 823	56.9
	40歳	29 196	606	2.1	3 218	11.0	25 368	86.9
	45歳	21 895	571	2.6	2 464	11.3	18 857	86.1
	50歳	33 405	1 146	3.4	4 523	13.5	27 727	83.0
	55歳	38 143	3 580	9.4	10 097	26.5	24 449	64.1
	60歳	64 246	10 918	17.0	22 648	35.3	30 629	47.7
	65歳	57 975	13 245	22.8	21 766	37.5	22 904	39.5
	70歳	42 922	12 659	29.5	16 359	38.1	13 889	32.4

注:「受診者数」には、「指導区分」の不詳を含む。

表5 歯周疾患検診・骨粗鬆症検診の実施市区町村数及び検診実施率の年次推移

	歯周疾患検診					骨粗鬆症検診				
	平成16年度 (2004)	17年度 ('05)	18年度 ('06)	19年度 ('07)	20年度 ('08)	平成16年度 (2004)	17年度 ('05)	18年度 ('06)	19年度 ('07)	20年度 ('08)
実施市区町村数	1 117	964	959	950	954	1 563	1 196	1 167	1 151	1 106
検診実施率(%)	43.9	52.3	52.5	52.3	53.0	61.4	64.9	63.9	63.4	61.4
全国市区町村数	2 544	1 844	1 827	1 816	1 800	2 544	1 844	1 827	1 816	1 800

注:検診実施率=(実施市区町村数/全国市区町村数)×100

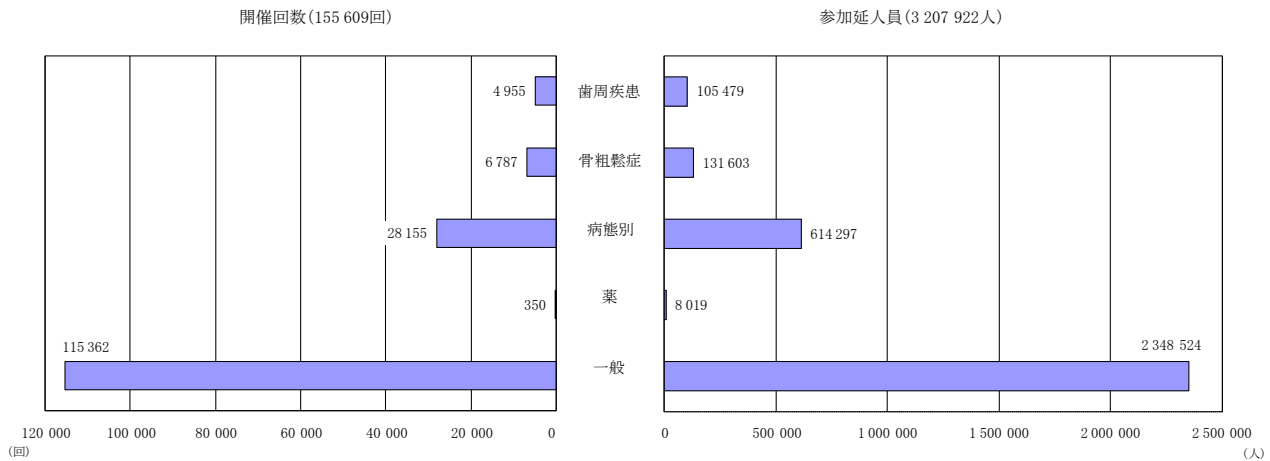
4 健康教育（健康増進法第17条第1項関係）

平成20年度に市区町村が実施した集団健康教育の開催回数は約15万6千回、参加延人員は約320万8千人となっている。

内容別にみると、開催回数、参加延人員ともに、「一般」が最も多くなっている。（図1）

図1 集団健康教育の実施状況

平成20(2008)年度



- 注：1) 「病態別」とは、肥満、高血圧、心臓病等と個人の生活習慣との関係及び健康的な生活習慣の形成についての教育をいう。
 2) 「薬」とは、薬の保管、適正な服用方法等に関する留意事項、薬の作用・副作用の発現に関する知識の教育をいう。
 3) 「一般」とは、生活習慣病の予防のための日常生活上の心得、健康増進の方法、食生活の在り方等健康に必要な事項の教育をいう。

5 健康相談（健康増進法第17条第1項関係）

平成20年度に市区町村が実施した健康相談の被指導延人員は約169万4千人となっている。

重点健康相談の内容別にみると、「病態別」が約20万9千人と最も多くなっている。（表6）

表6 健康相談の実施状況

平成20(2008)年度

		被指導延人員(人)			
		平成18年度 (2006)	19年度 ('07)	20年度 ('08)	対前年度比(%)
総	数	2,944,465	2,563,583	1,693,691	66.1
重点 健康 相談	総	994,221	877,717	562,188	64.1
	高	172,577	123,623	94,872	76.7
	脂	73,796	57,934	27,901	48.2
	糖	72,112	58,944	35,455	60.2
	歯	143,421	135,678	91,236	67.2
	骨	137,898	125,904	103,918	82.5
	病	394,417	375,634	208,806	55.6
総	1,950,244	1,685,866	1,131,503	67.1	

注:「病態別」とは、相談内容の「高血圧」から「骨粗鬆症」を除く、肥満、心臓病等の病態別に、個人の食生活その他の生活習慣を勧奨して行う相談指導等をいう。

6 機能訓練（健康増進法第17条第1項関係）

平成20年度に市区町村が実施した機能訓練の実施状況は、「実施施設数」580か所、「被指導延人員」約8万人となっている（表7）。

表7 機能訓練の実施状況

平成20(2008)年度

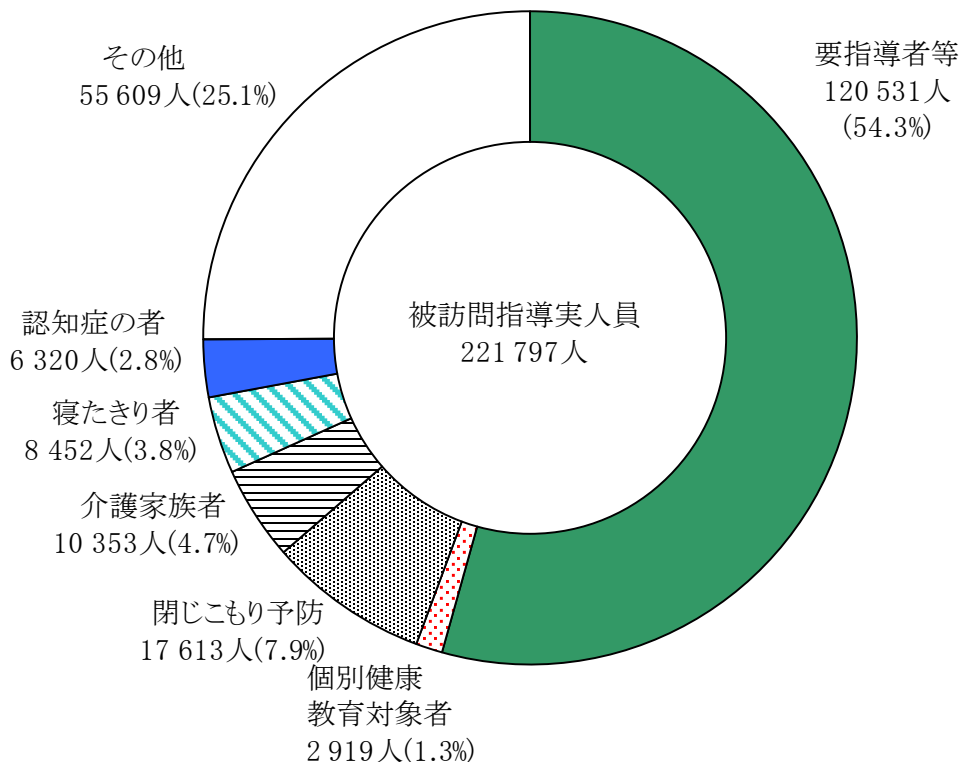
	平成18年度 (2006)	19年度 ('07)	20年度 ('08)	対前年度比(%)
実施施設数 (か所)	1 232	957	580	60.6
実施回数 (回)	34 182	23 624	16 286	68.9
被指導実人員 (人)	15 264	9 090	5 002	55.0
被指導延人員 (人)	191 286	123 975	79 699	64.3

7 訪問指導（健康増進法第17条第1項関係）

平成20年度に市区町村が実施した訪問指導の被訪問指導実人員は約22万2千人となっており、指導内容別にみると、「要指導者等」が約12万1千人（54.3%）と最も多くなっている（図2）。

図2 訪問指導内容別にみた被訪問指導実人員

平成20(2008)年度



注：「要指導者等」とは、生活習慣病改善のための指導を行った者をいう。

8 がん検診（健康増進法第19条の2関係）

（1）がん検診の受診状況

平成20年度に市区町村が実施したがん検診の受診率は、「胃がん」10.2%、「肺がん」17.8%、「大腸がん」16.1%、「子宮がん」19.4%、「乳がん」14.7%となっている（表8、図3）。

表8 がん検診受診者数及び受診率の年次推移

		平成16年度 (2004)	17年度 ('05)	18年度 ('06)	19年度 ('07)	20年度 ('08)
胃がん	受診者数 (人)	4 376 699	4 344 918	4 227 730	4 262 048	3 916 203
	受診率 (%)	12.9	12.4	12.1	11.8	10.2
肺がん	受診者数 (人)	7 769 635	7 537 013	7 387 430	7 506 113	6 685 467
	受診率 (%)	23.2	22.3	22.4	21.6	17.8
大腸がん	受診者数 (人)	6 430 450	6 630 503	6 824 088	7 176 312	6 418 334
	受診率 (%)	17.9	18.1	18.6	18.8	16.1
子宮がん	受診者数 (人)	3 995 021	3 439 094	3 320 265	3 538 132	3 499 278
	受診率 (%)	13.6	18.9	18.6	18.8	19.4
乳がん	受診者数 (人)	2 698 947	2 267 189	1 631 811	1 892 834	1 792 176
	受診率 (%)	11.3	17.6	12.9	14.2	14.7

注:1)受診率=(受診者数/対象者数)×100

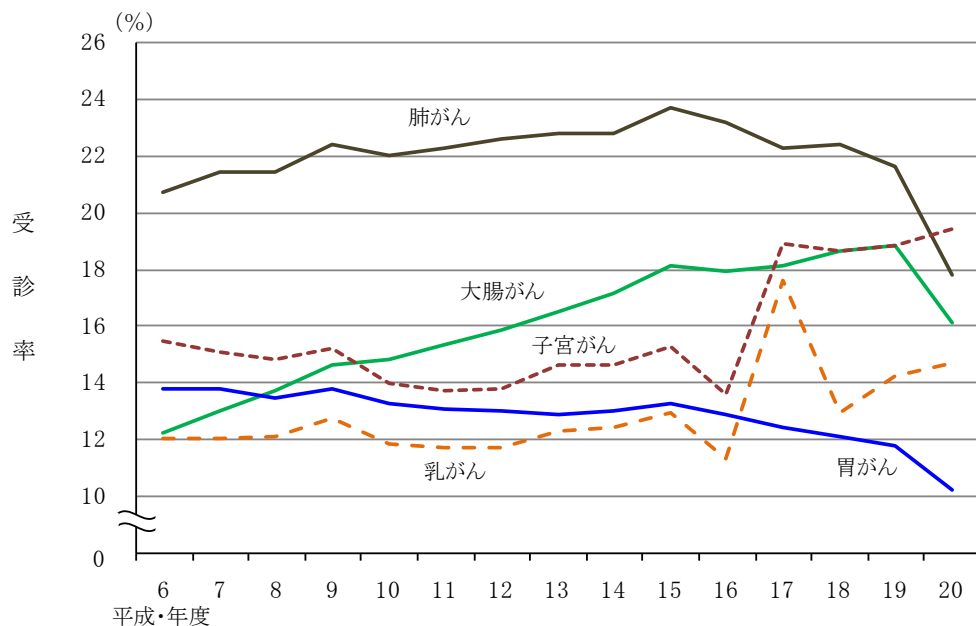
平成18年度「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針」の改正に伴い、平成17年度から「子宮がん」及び「乳がん」の受診率の算出方法を変更した。受診率=(前年度の受診者数+当該年度の受診者数-2年連続の受診者数)/(当該年度の対象者数)×100

2)平成17年度以降の受診率は、計数不明を除く。

3)「受診者数」については、「Ⅲ用語の解説」参照。

4)平成18年度以降の「乳がん受診者数」については、視触診方式及びマンモグラフィの併用者を計上。

図3 がん検診受診率の年次推移



注:受診率については表8の注を参照。

(2) がん検診受診率の分布状況

平成 20 年度の市区町村のがん検診受診率の分布をみると、がん検診受診率の高い「50%以上」の市区町村数は「肺がん」が 254 (14.1%) と最も多く、「胃がん」が 66 (3.7%) と最も少なくなっている。がん検診受診率の低い「0~10%未満」の市区町村数は「胃がん」が 628 (34.9%) と最も多く、「子宮がん」が 179 (9.9%) と最も少なくなっている。(表 9、図 4)

表 9 市区町村におけるがん検診受診率の分布状況

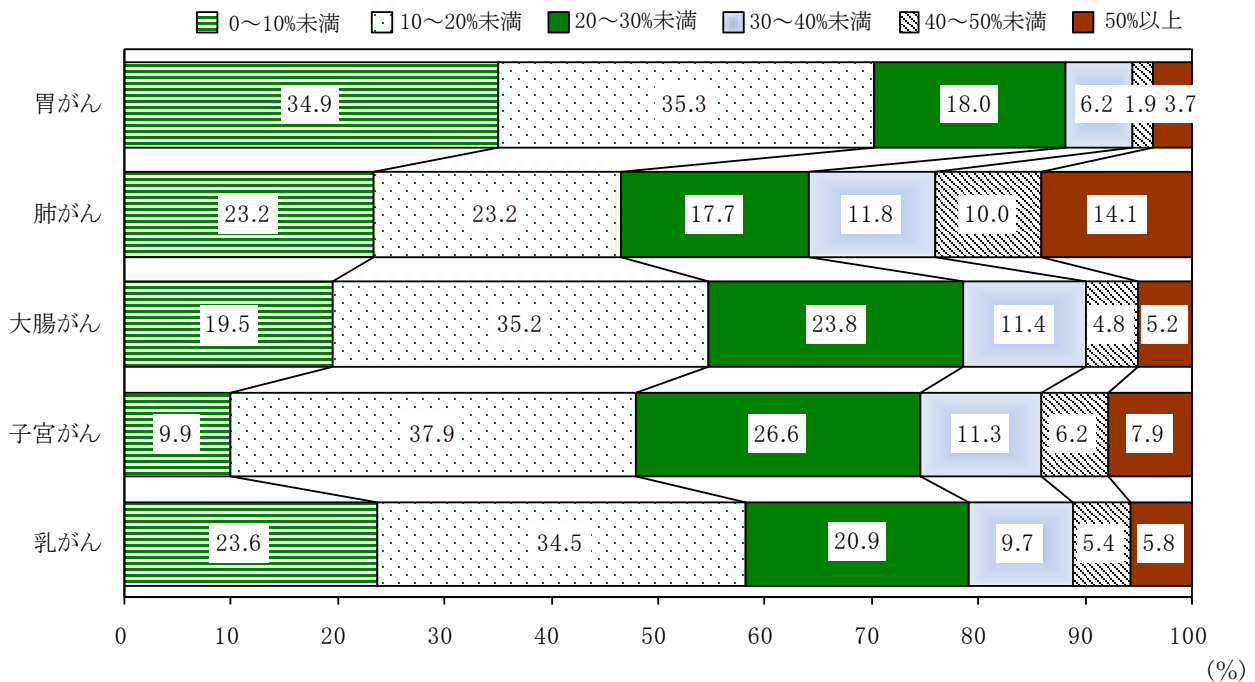
平成 20 (2008) 年度

	全国 市区町村数	がん検診受診率					
		0~10%未満	10~20%未満	20~30%未満	30~40%未満	40~50%未満	50%以上
胃がん	1 800	628	635	324	112	35	66
肺がん	1 800	418	417	318	213	180	254
大腸がん	1 800	351	634	429	206	87	93
子宮がん	1 800	179	683	479	204	112	143
乳がん	1 800	425	621	376	175	98	105

注:「0~10%未満」は、計数不明を含む。

図 4 市区町村におけるがん検診受診率の分布状況

平成 20 (2008) 年度



9 肝炎ウイルス検診（健康増進法第 19 条の 2 関係）

平成 20 年度に市区町村が実施した肝炎ウイルス検診の受診者数は、「C 型肝炎ウイルス検診」約 69 万 2 千人、「B 型肝炎ウイルス検診」約 69 万 4 千人となっている。

C 型肝炎ウイルス検診において「現在、C 型肝炎ウイルスに感染している可能性が極めて高い」と判定された者は約 7 千人、B 型肝炎ウイルス検診において「陽性」と判定された者は約 7 千人となっている。（表 10）

肝炎ウイルスに関する健康教育の開催回数は約 2 千回、参加延人員は約 4 万 1 千人、健康相談の開催回数は約 3 千回、参加延人員は約 2 万 3 千人となっている（表 11）。

表 10 肝炎ウイルス検診の実施状況

（単位：人）

平成 20 (2008) 年度

	C型肝炎ウイルス検診		B型肝炎ウイルス検診	
	受診者数	「現在、C型肝炎ウイルスに感染している可能性が極めて高い」と判定された者	受診者数	「陽性」と判定された者
総数	692 483	6 998	693 710	6 992
40歳	60 594	252	59 788	513
41～44歳	43 117	228	43 155	378
45～49歳	42 390	314	42 493	445
50～54歳	47 148	337	47 329	569
55～59歳	67 812	566	68 166	896
60～64歳	106 237	784	106 688	1 267
65～69歳	120 441	1 161	120 916	1 316
70歳以上	204 744	3 356	205 175	1 608

表 11 肝炎ウイルスに関する健康教育・健康相談の実施状況

平成 20 (2008) 年度

健康教育		健康相談	
開催回数(回)	参加延人員(人)	開催回数(回)	参加延人員(人)
1 714	40 571	2 875	22 613